

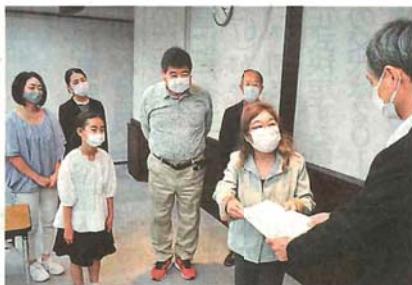
令和4年(2022年)5月20日(金曜日)

三島市再開発事業
知事に公開質問状
NPO「検証不十分」

三島市の三島駅南口東街区に広域健康医療拠点や高層マンションを建設する再開発事業を巡り、地元のNPO法人グラウンドワークは19日、地下水への影響や地盤の安全性について科学的な検証が不十分などとして、川勝平太知事宛て

の公開質問状を提出した。川勝知事は都市再開発法に基づく再開発組合の設立認可を5月末までに判断する意向で、地下水の保全や耐震性の観点から慎重に審査する考えを示している。

公開質問状は2020年の都市計画決定の際、川勝知事が三島市に要請した「市民との丁寧な対話を通じた合意形成」が十分でないと指摘。溶岩層と地下水脈が大規模掘削で破壊され、景観も損なわれるなどを懸念している。



公開質問状を提出するグラウンドワーク三島の関係者ら
19日午後 県庁

提出後に記者会見した渡辺豊博専務理事は「地下水への影響が心配されるが、三島市の調査は信用できない。事業計画も当初から大きく変わっている。県には事実確認を求める」と語り、7月4日までに文書で回答するよう求めた。

県側は飯田温都市局長が対応し「しっかりと知事に伝え、内容を確認した上で真として回答する」と述べた。